

# 絆

赤井むつみ後援会便り第24号

2014年6月 発行

笑顔あふれる温かい町に！



## 第2回定例会(6月議会)で決まった補正予算等

- ◎ 10月1日より、子育て世代を支援する目的で、小学校入学前の乳幼児の医療費が無料（自己負担なし）となります。（所得に関係なく全員）これは、道の補助に加えて、町としても医療費の自己負担額の助成をすることになったためです。そのための予算として、754万5千円が補正されました。
- ◎ ふるさと応援寄付金奨励事業に107万円。八雲町に寄付をして下さった方に、約半額相当の八雲の物産をお送りします。  
（現在、1,547万4千円の寄付金が集まっています）
- ◎ 「花の首飾り」まちづくり協議会補助金として、96万円。
- ◎ 木彫り熊資料館内部改修工事請負費として、155万6千円。木彫り熊講座の製作をしやすいように、和室をフローリングに変えるためです。
- ◎ 木彫り熊資料館リーフレット印刷製本費として、73万5千円。
- ◎ 農作業受委託支援事業業務委託料として1,200万円。地元食材の商品化・販売事業業務委託料として、300万円。これは、農業に関心がある人、未就職者、女性失業者を採用するため、地域人づくり事業として、国や道から来る財源で行なうものです。
- ◎ 工事請負契約の締結について（地域限定型一般競争入札）  
熊石パークゴルフ場造成工事、6,654万3,120円の工事代金です。



補正予算は、国や道から入ってくるお金で、使い道が決められた事業や、町として必要に迫られて支出しなければならない事業のために計上されます。

もちろん、どちらも、町の活性化や町民皆さまの幸せにつながるための支出ですが、もっと町民皆さまの声を反映できるものにしたいと思っています。

八雲町には、たくさんの方たちが、まちづくりのために様々な取り組みを行なっています。その方たちの思いが予算により反映されるよう、私自身ももっと勉強すべきだと今回は痛感しました！是非、ご意見をお寄せください！

## 今回の一般質問

質問1 心豊かに過ごせる八雲町を今後も持続させるためには、少子高齢化による人口減少への対応、若者が定着できる雇用対策、高齢者や障がい者に優しいまちづくりが求められますが、町長は今後どのような考えでまちづくりを進めていくのでしょうか？

町長答弁

今後は町民税や固定資産税の減少、交付税の減額が予想され、社会保障費の安定した財源確保にも至っていないため、今まで以上に慎重な財源運営を図らなければならない。町内産業経済の活性化による雇用の拡大、基幹産業である農林水産業の活性化も含め町全体の産業経済の底上げを図ることを目指し、若者が自然、生活、産業など町の資源に魅力を感じ、まちづくりに参画できるような仕組みが必要。いずれにしても若者が八雲町に誇りを持ち、住みたい、住み続けたいと思えるような社会環境の整備が大切であると考えている。

八雲町のすべての子どもが等しく質の高い教育・保育を受けられる環境整備を図り、子育てのしやすいまちとなるよう八雲町子ども子育て支援計画を策定し具現化する。誰もがいつでも住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めることが高齢者、障がい者にやさしいまちづくりになるのでその実現に向け、新八雲町総合計画と総合性を図り本年度高齢者福祉計画、第6期介護保険計画、障害福祉計画、障害者計画を策定し高齢者福祉、障がい者福祉の政策を推進する。

質問2 認知症の男性が徘徊中に電車にはねられて死亡し、JR東海が遺族に対し、遅延損害の賠償を求める裁判が行なわれました。法的には遺族に賠償責任を負わせるというあまりに酷な判決が出ました。今の制度の中では、家族だけで認知症を抱える方を支援するには限界があり、家族が社会と隔離されてしまう恐れがあります。八雲町全体で支えるために、今後どのような対策をお考えでしょうか？

町長答弁

認知症の方々が不明者になった場合の捜査システムであるSOSネットワークを今年度中に構築し、認知症介護をする家族の方々の安心に努めたい。さらに厚生労働省による認知症施策推進五カ年計画では平成30年までに認知症の早期から家庭訪問を行い、アセスメントや家族などの支援を行うチーム認知症初期集中支援チームを全市町村に設置することとなっているので、現在情報収集に努めている。認知症高齢者を地域で見守り、互いに支え合える町になるためには認知症の方々や家族に対する地域の方々の協力が何よりも重要であると考えている。

## 議会報告会を終えて

以前から八雲に限らず、全国どこでも少子高齢化による人口減少と、今後の財政確保の問題が緊急課題となっています。そのための施策は大丈夫なのか、予算・補正予算と、本当にこのことが町民の幸せにつながるのか、負の遺産にならないのかをしっかりと見極めなければならないと痛感しています。当然、行政は全体を見て予算を執行していくのですが、私たち町民からすると、本当に今必要なのだろうか？という思いもあります。そこをチェックし、なぜ賛成したのか、なぜ決まったのかをしっかりと説明する義務が議員にはあります。

4月に行なった議会報告会では、そこをしっかりと説明し、そのことについて皆さんのご意見をお聞きしました。会場にいらして下さった皆さんからは、率直なご意見をいただき、共に考える良い時間を過ごせたことに心から感謝致します。議会は行政とは違い、予算を作ったり執行したりする事はできませんが、意見を言う事は出来ます。その意見は個人的だったり、その場の思い付きではダメで、町民皆さまと共に考え、広く調査した意見でなければなりません。残念ながら、私はまだまだ調査が足りず、皆さまの思いをしっかりと活かすことが出来ていませんが、今回の報告会を終えて、今後の活動の仕方がはっきりと見えたことが何よりの成果でした。なかなか歩みが遅く、未熟な点多すぎですが、今後も皆さまのお力をお借りし、皆さまと共に、温かい町、住みよい町を目指し、全力で取り組んでいきますので、今後ともご指導をよろしくお願い致します。



## 議会あれこれ？

6月26日朝のNHKニュースで、八雲町が産地

偽装「熊石あわびフェスティバルのあわびが韓国産だった！」と報道されました。その前日に緊急招集され、全員協議会でその報告がありました。低温で8割が死んでしまったため、その穴埋めに輸入した。皆さまに少しでも安くお届けする事、お祭りを成功させる事に必死で、偽装という意識が薄らいってしまったということです。私たちも実行委員会で山車行列に取り組んでいるので、成功させたいという思いはよくわかりますが、「これは韓国産です！」と、当日伝えればいだけなのになぜ？今後のいろいろな面での影響が心配です！

都議会の人権侵害ヤジが海外から指摘されました。八雲町議会ではそうしたヤジを聞いたことはありませんが、男女共同参画の話が出たときに、雑談の中で「トイレも更衣室も一つでいいということか？それは反対だ！」との声が聞かれました。21世紀の今でもこんな感覚の人がいた事にとっても驚きました！

# 第32回 山車行列 開催!

7月4日(金)5日(土)の2日間、八雲山車行列が行なわれます!

今年は、大小合わせて29台の山車が参加します。

昨年に続き、北大などの学生、ニセコ町の皆さん、東北電力の皆さんに加え、今年は八雲高校の生徒の皆さん「Y-Girls♡」が昨年より更にバージョンアップして登場です。若者のエネルギー、子ども達のパワー、そしてそれを支えるたくさんの熱い思いを、共に味わい、大いに盛り上がりましょう!

お天気が心配ですが、各団体毎晩遅くまで山車製作や踊りの練習に励んでいますので、当日は是非、気持ちの良い山車行列ができる事を心から願っています。皆さまも、是非ご覧下さい!! もちろん、飛び入り参加も大歓迎です!!



## 今年の見所!

新聞に入る黄色のチラシをお見逃しなく!

- ☆ 1日目の『審査席』の場所は昨年同様、笹田事務所の隣に設置されます。ここで、各団体の山車はもちろん、パフォーマンスも披露されますので、お楽しみください!
- ☆ 2日目の駅前での打ち上げでは、子ども用に『お菓子まき』、大人用に『餅まき』が行なわれます。けがをしないように、お楽しみください。お餅の中に、引換券が入っていたら、バス停のところで交換しますので、お見逃しなく!
- ☆ 熊石地域の相沼奴が、2日目に披露されます。楽しみですね!
- ☆ ほとんどの山車は、昨年の紙を全て貼りなおしたり、あんどんを新たに作り変えています。仕事を終えてからの作業ですので、何日も何週間もかかって完成させ、当日を迎えています。素人ですから青森ねぶたや五所川原の立ちねぶたのように出来ませんが、それぞれに個性豊かにできていますので、どうぞ一つひとつをごゆっくりお楽しみ下さい!



赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126 FAX=62-3632

電話=080-5588-2090(赤井) (赤井むつみでブログの検索を!)

赤井自宅 栄町56-12 ☎ 63-2090